

## 自然教育園産菌類目録 (2)

土 居 祥 兌\*

List of the Fungi in the Institute for Nature Study 2

Yoshimichi Doi \*

### は じ め に

国立科学博物館附属自然教育園は、東京都港区白金台にあり、関東平野の海岸よりの低地帯に位置している。当園は都内では珍しく皇居の吹上御苑などと共に森林がよく保存されている場所である。園内には武蔵野の面影をとどめるスダジイ、コナラ、ムクノキ、エノキ、ミズキ、クロマツ、アカマツなどの多い雑木林があり、林内には倒木もそのまま保存され、菌類の生息場所として好条件になっている。しかし、大都会の中で限られた面積で取り残され、関東一帯の森林と隔離された森林として、特異な条件下にあり、このような環境条件が菌類相にどのような影響を及ぼしているかについても、十分留意する必要がある場所でもある。

筆者は1986年に自然教育園産菌類目録 (1) (土居, 1986) で担子菌門の菌蕈綱と腹菌綱の種計70種を報告して以来、2000年までの15年間に採集調査を重ねた結果、新たに同定された菌類74種を第二報として報告する。特に1998年度から2000年度にかけて行われた「国立科学博物館附属自然教育園における自然生態系特別調査」によってさらに調査が進んだので、菌類の種数も相当量が追加できた。折しも、皇居吹上御苑の菌類調査が当園の調査と平行して実施されたため、東京都内の隔離された二つの森林の菌類相を比較することができた。この観点からの知見は関連する種の項で付け加えた。なお、菌類のうち、子囊菌門チャワントケ綱については、専攻研究者が別途報告されるので、いわゆるアンモニア菌と称される動物の遺体などから生える性質をもつ範疇の種以外は本目録からは除外した。また、第一報で報告した種のいくつかについては、訂正あるいは補足説明を加えた。さらにまた、種によっては上記以外の内容の注釈を付した。なお、以下の目録で、各種名の次に示した記号について、Gは地上、Wdは枯死植物体上、Wlは生きている植物体上に生えることを示した。また、F-以下の数字は、国立科学博物館植物研究部標本庫 (TNS) の菌類標本の番号を表す。1950年および1951年に採集された採集者不明の標本は、現在植物研究部に移管されている。自然教育園にはまだまだ多数の菌類の種が生息しており、未同定の標本がすでに相当量蓄積されている。それらについては同定が出来次第報告を追加したい。

自然教育園の今回の菌類調査に際し、自然教育園園長をはじめ、研究係および事務室の方々に多大の

---

\* 国立科学博物館 植物研究部, Department of Botany, National Science Museum, Tokyo

協力を頂いた。ここに厚くお礼申し上げます。また、青島清雄博士、小林享夫博士（元森林総合研究所）ならびに服部力博士（独立行政法人森林総合研究所）には、それぞれの専門分野の種について同定頂き、あるいは助言頂いた。ここに謝意を表します。

## 2. 菌類目録 (2)

### Ascomycota 子囊菌門

Archiascomycetes 古生子囊菌綱

Taphrinales タフリナ目

Taphrinaceae タフリナ科

71. *Taphrina wiesneri* (Rathay) Mix, サクラの天狗巣病菌, W1, 標本は採集していないが, 園内ひょうたん池周辺のソメイヨシノの生枝に多数発生しているのが観察される。

Discomycetes チャワнтаケ綱

Pezizales チャワнтаケ目

Ascobolaceae スイライカビ科

72. *Ascobolus denudatus* Fr., G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki, いわゆるアンモニア菌の一種で, 佐藤・鈴木 (Sato & Suzuki, 1997) によって土壌サンプルからの分離培養によって存在が確認された。

Pezizaceae チャワнтаケ科

73. *Peziza moravecii* (Svrek) Donadini, G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki.  
いわゆるアンモニア菌の一種である。

Otideaceae オチデア科

74. *Pseudombrophila deerata* (Karst.) Seaver, G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki.  
アンモニア菌の一種である。

Morchellaceae アミガサタケ科

75. *Morchella conica* Pers., トガリアミガサタケ, G, 2000-4, S. Kawakami, (F-20890).

Pyrenomycetes 核菌綱

Boliniales ポリニア目

Boliniaceae ポリニア科

76. *Camarops petersii* (Berk. & Curt.) Nanff., ヘタタケ, Wd, 1983-9, Y. Doi, (F-199033).

1980年代に倒れたシイの大木の一本の上のみ毎年発生し続けたが, そのシイの倒木がほぼ分解されつくした後は園内に発生を見ない。

Xylariales クロサイワイタケ目

Xylariaceae クロサイワイタケ科

77. *Daldinia concentrica* (Bolt.) Ces. & de Not., チャコブタケ, Wd, 1986-10, Y. Doi, (F-169666).

Hypocreales ポタンタケ目

Hypocreaceae ポタンタケ科

ごく普通の種が自然教育園では確認されない例, あるいは発生が非常に少ない例がポタンタケ属で認められた。*Hypocrea chrysofulva* (暫定名) のような吹上御苑と自然教育園にしか見いだされていない種がある反面, *H. schweinitzii* のような普通種が両地域から見い出されず, *H. lutea* は吹上御苑で, また *H. albofulva* は自然教育園では見いだされていないといった偏った分布パターンが認められた。都会の中で隔離され, また, 限られた面積の森林に生育する菌類の種構成の一つの特徴ではないかと思われる。

78. *Hypocrea ceramica* Ell. & Ev., Wd, 1991-10, Y. Doi, (F-7997).

79. *Hypocrea chrysofulva*, (暫定種), Wd, 1987-9, Y. Doi, (F-6978).

皇居内吹上御苑のマテバシイの枯木と自然教育園のスダジイの枯木のみから生息が確認された種(土居・安藤・椿, 2000) で, 新種の可能性が高い。自然教育園産のポタンタケ (*Hypocrea*) 属については, 本種を含めた別の報告を予定している。

80. *Hypocrea lutea* (Tode) Petch, Wd, 1980-8, Y. Doi, (F-7507).

81. *Hypocrea muroiana* Hino & Katumoto, Wd, 1991-10, Y. Doi, (F-8079).

82. *Hypocrea nigricans* (Imai) Doi, Wd, 1986-7, Y. Doi, (F-7891).

83. *Hypocrea pachybasioides* Dol, Wd, 1991-4, Y. Doi, (F-7605).

84. *Hypocrea pallida* Ell. & Ev., ヒダナシタケ目 *Tyromyces* sp. に寄生, 1992-10, Y. Doi, (F-8087).

85. *Hypocrea purpureosplendens* Doi, Wd, 1992-10, Y. Doi, (F-2505).

Hypomycetaceae ハイボミケス科

86. *Hypomyces trichothecoides* Tubaki, カワラタケに寄生, 1991-10, Y. Doi, (F-2506).

Loculoascomyetes 小房子囊菌綱

Dothideales ドチデア目

Dothideaceae ドチデア科?

87. *Vestergrenia neolitsea* Hino & Katumoto, Wl, 1992-6, Y. Doi, (F-169761).

本種の所属する科については現在定説はない。

Basidiomycota 担子菌門

Teliomyces サビキン綱

Uredinales サビキン目

Pucciniaceae プクキニア科

88. *Gymnosporangium asiaticum* Miyake ex Yamada, Wl, S. Hagiwara, (F-199044).

Heterobasidiomycetes 異担子菌綱

Tremellales シロキクラゲ目

Tremellaceae シロキクラゲ科

- 89. *Tremella mesenterica* Retz. : Fr., コガネニカワタケ, Wd, 1985-4, Y. Doi, (F-199082).

Auriculariales キクラゲ目

Auriculariaceae キクラゲ科

- 90. *Auricularia auricula* (Hook) Underw., キクラゲ, Wd, 1985-4, Y. Doi, (F-199091).
- 91. *Auricularia mesenterica* (Dick.) Pers., ヒダキクラゲ, Wd, 1984-10, Y. Doi, (F-199020).
- 92. *Auricularia polytricha* (Mont.) Sacc., アラゲキクラゲ, Wd, 1983-9, Y. Doi, (F-198989).

Exidiaceae ヒメキクラゲ科

- 93. *Exidia glandulosa* Fr., ヒメキクラゲ, Wd, 1985-4, Y. Doi, (F-199082).

Hymenomycetes 菌蕈綱

Agaricales ハラタケ目

Pleurotacea ヒラタケ科

- 94. *Pleurotus djamor* (Fr.) Boedijn, トキイロヒラタケ, Wd, 1986-7, Y. Doi, (F-2534).

Tricholomataceae キシメジ科

- 95. *Armillariella mellea* (Vahl. : Fr.) Karst. s. lato, ナラタケ (広義), Wl & Wd, 1986-10, Y. Doi, (F-2519).
- 96. *Armillariella tabescens* (Scop.) Sing., ナラタケモドキ, Wl & Wd, 1986-7, Y. Doi, (F-2522).
- 97. *Collybia confluens* (Fr.) Kummer, アマタケ, Wd, 1985-5, Y. Doi, (F-198955).
- 98. *Gerronema holochlorum* (Berk & Br.) Pegler, ミドリサカズキクケ, 1989-9, Y. Doi, (F-170535).

梅雨期と秋期に広葉樹林の林床の枯枝から生えるごく普通に見られるキノコであるが、種名が同定されたのはごく最近である (Neda & Doi, 1998)。

- 99. *Lepista* sp., G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki, アンモニア菌の一種である。

- 100. *Marasmius aukubae* Neda, Wl, 1991-10, Y. Doi, (F-2507).

アオキの生葉の一部が黒色に枯れ、そこに小形の子実体が群生する種で、自然教育園ではわりあい普通に見られるが、新種として報告されたのはごく最近である (Neda & Doi, 1998)。

- 101. *Mycena haematopoda* (Pers. : Fr.) Kummer, チシオタケ, 1991-10, Y. Doi, (TNS-F-2510).
- 102. *Mycena sanguinolenta* (Alb. & Schw. : Fr.) Kummer, ヒメチシオタケ, 1991-10, Y. Doi, (F-2509).

- 103. *Tricholosporum porphyrophyllum* (Imai) Guzmán, ウラムラサキシメジ, G, 1986-10, Y. Doi, (F-2511). 広葉樹林内の地上にときに菌輪を作って生える。一見ムラサキシメジに似るが、担子胞子の形状などにより識別できる。食毒不明。吹上御苑にも分布している (吹春他, 2000)。

Amanitaceae テングタケ科

自然教育園には未同定種を含め、かなり多くの本科の種が生息するが、吹上御苑にはごく少なかった。

104. *Amanita farinosa* Schw., ヒメコナカブリツルタケ, G, 1997-9, Y. Doi, (F-2515).  
 105. *Amanita spissacea* Imai, ヘビキノコモドキ, G, 2000-9, Y. Doi, (F-2514).  
 106. *Amanita synchnopyramis* Corner & Bas f. *subannulata* Hongo, テングタケダマシ, G, 1997-9, Y. Doi, (F-2513).  
 107. *Amanita vaginata* (Bull. : Fr.) Vitt., ツルタケ, G, 2000-9, Y. Doi, (F-2512).

## Pluteaceae ウラベニガサ科

108. *Pluteus aurantiorugosus* (Trog.) Sacc., ヒイロベニヒダタケ, Wd, 1986-10, Y. Doi, (F-2516).

## Agaricaceae ハラタケ科

109. *Agaricus plaecloaresquamosus* Freeman?, ナカグロモリノカサ?, G, 1997-9, Y. Doi, (F-2518).  
 110. *Lepiota acutesquamosa* (Weinm. : Fr.) Gill, s. *lat.*, G, オニタケ, 2000-9, Y. Doi, (F-2517).  
 111. *Lepiota atosquamulosa* Hongo?, ナカグロキツネノカラカサ?, G, 1986-7, Y. Doi, (F-2522).

## Coprinaceae ヒトヨタケ科

112. *Coprinus phlyctidosporus* Romagn., G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki.  
 いわゆるアンモニア菌である。  
 113. *Coprinus radians* (Desm. : Fr.) Fr., コキララタケ, Wd, 1986-7, Y. Doi, (F-2518).

## Cortinariaceae フウセンタケ科

114. *Hebeloma sporiatum* (Fr.) Karst., G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki.  
 いわゆるアンモニア菌である。  
 115. *Inocybe asterospora* Quél.?, カブラアセタケ?, G, 1987-7, Y. Doi, (F-2523).

## Entolomataceae イッボンシメジ科

116. *Entoloma rhodopolium* (Fr.) Kummer, クサウラベニタケ, G, 1986-10, Y. Doi, (F-2524).

## Russulaceae ベニタケ科

117. *Russula* cf. *japonica* Hongo, シロハツモドキ近似種, G., 1991-10, Y. Doi, (F-2529).

シイ林の地上に生える。シロハツ群は分類が難しいとされる。暖地林に生える本群の一種に食べると著しいアレルギー症状を起こす未知種があることが最近明らかになった(河野・土居, 2001)ので、自然教育園に生えるこの種も食べないように注意すべきである。

## Boletaceae イグチ科

118. *Boletus fraternus* Peck コウジタケ, G, 1986-7, Y. Doi, (F-2532).  
 119. *Suillus bovinus* (L. : Fr.) O. Kuntze アミタケ, G, 1995-7, Y. Doi & P. G. Liu, (F-180223).  
 120. *Suillus luteus* (L. : Fr.) S. F. Gray, ヌメリイグチ, G, 2000-9, Y. Doi, (F-2530).

Cantharellales アンズタケ目

121. *Cantharellus cibarius* Fr., アンズタケ, G, 1986-7, Y. Doi, (F-171827).
122. *Clavaria vermicularis* Swartz & Fr., シロソウメンタケ, G, 1986-7, Y. Doi, (F-171829).
123. *Clavulina cristata* (Fr.) Schroet., カレエダタケ, G, 1986-10, Y. Doi, (F-169650).
124. *Craterellus cornucopioides* (L.: Fr.) Pers., クロラッパタケ, G, 1986-7, Y. Doi, (F-171832).
125. *Physalacria* cf. *komabensis* Imazeki, Wd, 1955-6, Y. Doi (F-237430).

Aphylliphorales ヒダナシタケ目

Hymenochaetaceae タバコウロコタケ科

126. *Phellinus laurencii* (Berk.) Aoshima, ツリバリサルノコシカケ, Wd, 1951-10, シイ枯木上.
127. *Phellinus torulosus* (Pers. ex Lloyd) Bourd. & Galz., コルクタケ, Wd, 1950-10.

Polyporaceae サルノコシカケ科

128. *Coriolus brevis* (Berk.) Aoshima, ニクウスバタケ, Wd, 1991-10, K. Aoshima, (F-1938).
129. *Coriolus hirsutus* (Wulf.: Fr.) Quél., アラゲカワラタケ, Wd, 1987-7, Y. Doi, (F-171836).
130. *Datronia mollis* (Sommerf.: Fr.) Donk, シカタケ, Wd, 1984-11, Y. Doi, (F-198614).
131. *Gloeophyllum trabeum* (Fr.) Murr., キチリメンタケ,  
自然教育園に保存されていた標本で, 採集データは不詳である。
132. *Microporus flabelliformis* (Fr.) O. Kuntze, ウチワタケ, Wd, 1986-8, Y. Doi, (F-1942).
133. *Oligoporus balsameus* (Peck) Gilb. & Ryv., トドマツオオウズラタケ, Wd, 1955-6, (F-237447).
134. *Oligoporus caesius* (Schrad.: Fr.) Gilb. & Ryv., アオゾメタケ, Wd, 1986-10, Y. Doi, (F-169612).
135. *Polyporus hemicapnodes* Berk. & Br., Wd, 1993-7, Y. Doi, (F-172192).
136. *Spongiporus trichrous* (Berk. & Curt.) Aoshima, シロカイメンタケ, Wd, 1950-9.

Ganodermataceae マンネンタケ科

137. *Ganoderma lucidum* (Leyss.: Fr.) Karst., マンネンタケ, Wd, 1985-7, Y. Doi, (F-208627).
138. *Ganoderma neo-japonicum* Imazeki, マゴジャクシ, Wd, 1986-8, Y. Doi, (F-2535).

腹菌綱

スッポントケ目

Clathraceae アカカゴタケ科

139. *Linderia bicolumnata* (Lloyd) Cunn., カニノツメ, G, 1986-10, Y. Doi, (F-169654).
140. *Lysurus moksin* (L.: Pers.) Fr., ツマミタケ, G, 1995-7, P. G. Liu, (F-180315).

## 不完全菌類 Mitosporic Fungi (Imperfect Fungi)

## Hyphomycetes 糸状不完全菌類

141. *Amblyosporium botrytis* Fres., G, 1993-6, Y. Sato & A. Suzuki.  
いわゆるアンモニア菌である。
142. *Nomuraea atipicola* (Yasuda) Samson, クモタケ, G, 1984-7, Y. Doi, (F-169652).
143. *Tilachlidiopsis nigra* Yakushiji & Kumazawa, オサムシタケ, G, 1984-7, Y. Doi, (F-198983).

## Coelomycetes 分生子果不完全菌類

144. *Marssonia daphnes* (Desm. & Rob.) Magnus, チンチョウゲコクテン病菌, W1, 1992-5, J. Sorimachi, (F-169684).

## 引用文献

- 土居祥兌. 1986. 自然教育園産菌類目録 (1) 自然教育園報告, (17) : 51-56.
- 土居祥兌・安藤勝彦・椿 啓介. 2000. 皇居産菌類雑記. 科博専報, (34) : 333-338.
- 吹春俊光・服部 力・小林孝人・高橋春樹・土居祥兌. 2000. 皇居吹上御苑産大型担子菌類 (担子菌門). 科博専報, (34) : 291-298.
- 河野洋輔・土居祥兌. 2001. 新しい毒キノコが見つかりました。注意して下さい。科博ニュース, (389) : 27-28.
- Neda, H. and Y. Doi. 1998. Notes on Agarics in Kyushu District, *Mem. Natn. Sci. Mus. Tokyo*, (31) : 89-95.
- Sato, Y. and A. Suzuki. 1997. The occurrence of ammonia fungi, and changes in soil conditions and wood decay rate in response to application of a large amount of urea in a *Quercus serrata* dominated mixed forest in Meguro, Tokyo. *Bull. Faculty of Education, Chiba Univ.*, 45 : 53-59.

## Summary

The fungi in the campus of the Institute for Nature Study were taxonomically studied and those species are listed. The campus is situated in Tokyo. The forests of the campus contain *Quercus* spp., *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* *Cinnamomum* spp., etc., and they indicate the original vegetation of the warm temperate areas of Japan.

Doi (1986) already listed 70 species of the Agaricales, Aphyllophorales and Gasteromycetes mainly from the forests of the campus. In this paper the other 74 species of Ascomycota, Teliomyces, Heterobasidiomycetes, Hymenomycetes and Gasteromycetes of Basidiomycota, and Mitosporic fungi are listed.